



板橋区スポーツ推進ビジョン2025



板橋区

はじめに



近年、国のスポーツ施策として、平成22年に「スポーツ立国戦略」、平成23年に「スポーツ基本法」、平成24年に「スポーツ基本計画」が相次いで策定され、スポーツを取り巻く環境は、大きく変化してきました。

また、平成25年には、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催が決定され、これからの日本社会全体が、スポーツによって大きく発展していくことが期待されます。

こうした背景のもと区では、平成28年度からの概ね10年後の将来像を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と掲げた新たな板橋区基本構想を策定いたしました。

さらに、この板橋区基本構想に掲げる将来像を具現化した「板橋区基本計画2025」では、「9つのまちづくりビジョン」を定め、スポーツを区の重要施策とする「心躍るスポーツ・文化」ビジョンとし、「スポーツを世界共通の文化」と位置付けました。

スポーツの持つ力を最大限に活用し、心豊かに健康で元気なまちを区民の皆様とともに目指し、「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちを実現するため、「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」を策定いたしました。

「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」は、基本理念に「スポーツの文化的価値の浸透」と「最良のレガシーの創出」を掲げ、区の進むべき、スポーツの基本的な推進施策の方向性を示しています。

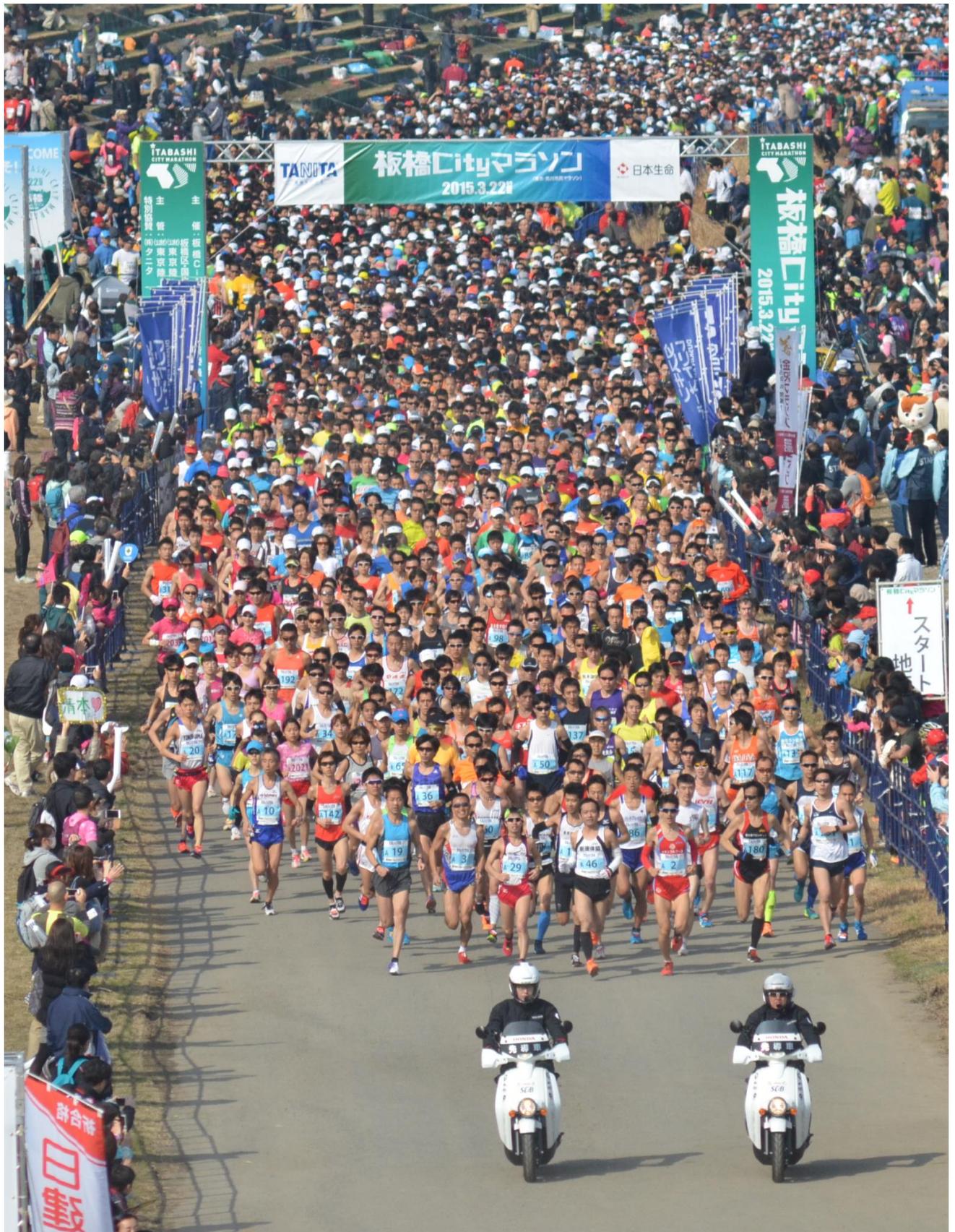
「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」をもとに、区民の皆様がスポーツを様々な形で楽しみながら健康で心豊かに暮らし、感動とにぎわいのあるスポーツのまちとなるように取り組んでまいります。

今後とも区民の皆様との連携のもと、スポーツの多様な力を活かし、「板橋区スポーツ推進ビジョン2025」に掲げた目標の達成に向けて邁進してまいりますので、区民の皆様をはじめ関係各位の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 4 月

板橋区長

坂本 健



目次

1	ビジョンの策定の背景	1
2	ビジョンの位置付けと検討のプロセス	1
3	ビジョンの期間	1
4	あるべき姿	1
5	基本理念	2
6	基本目標	2
7	3つの視点	2
8	8つの基本施策	3
9	ビジョンの全体像	10
10	関係団体の役割	12

1 ビジョンの策定の背景

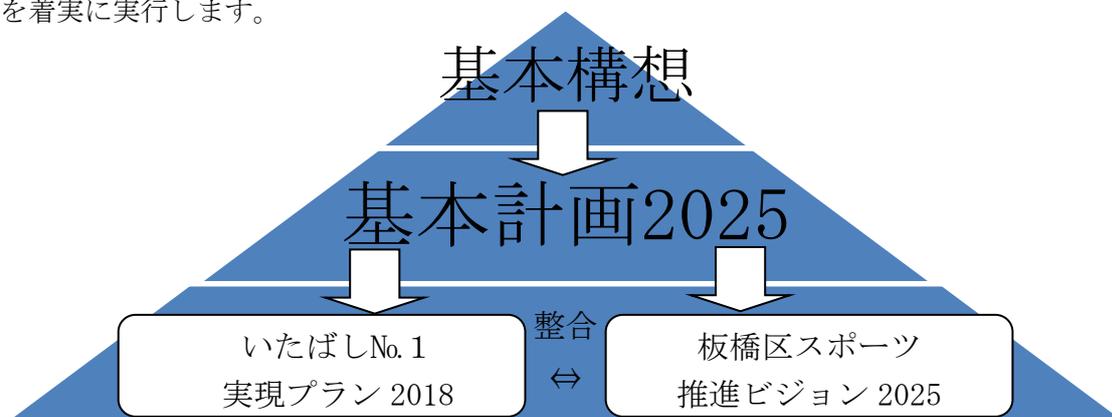
平成 23 年 6 月に制定されたスポーツ基本法を具体化する計画として、文部科学省において、平成 24 年 3 月に「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出」を目指すため、スポーツ基本計画が策定されました。

また、平成 25 年 9 月に東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）の開催が決定し、日本全体のスポーツへの気運が高まっています。

東京2020大会の気運醸成に向けた取り組みを図り、大会の成功はもとより、スポーツによる健康で元気なまちづくりを目指し、スポーツの基本的な推進施策の方向性を示すため、板橋区スポーツ推進ビジョン2025（以下「ビジョン」という。）を策定します。

2 ビジョンの位置付けと検討のプロセス

ビジョンはスポーツの推進にかかる基本的な方針を定めるもので、あるべき姿の実現に向け、基本目標を着実に実行します。



なお、スポーツを文化として位置付けるにあたり、板橋区文化芸術振興ビジョンや板橋区文化芸術振興基本計画 2020 と相互に補完・連携しながら進めていきます。また、ビジョンの策定にあたっては、スポーツ推進ビジョン策定委員会を設置し、様々な視点で検討を行っています。



3 ビジョンの期間

平成 28 年度（2016 年度）を初年度として、平成 37 年度（2025 年度）を最終年度とする 10 年間とします。

4 あるべき姿

5 年後（東京 2020 大会まで）

東京 2020 大会を契機として区民が健康を意識し、スポーツに親しめるまち

10 年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）

区民が健康で心豊かに暮らし、感動とにぎわいのあるスポーツのまち

5 **基本理念**

ビジョンにおける基本理念は、区民のためのスポーツ施策の根幹をなす考え方です。

スポーツ基本法では、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と規定されています。

また、板橋区基本構想の「心躍るスポーツ・文化」ビジョンにおける、概ね10年後の「あるべき姿」^{※1}では、「スポーツを世界共通の文化」として位置付けていることから、ビジョンでは、以下の2点を基本理念とします。

※1 板橋区基本構想における「心躍るスポーツ・文化」ビジョンでは、「スポーツを世界共通の文化として親しみ、様々な方法で楽しむことによって、健康で心豊かに暮らすことができるとともに、プロスポーツやトップアスリート、大学などによる地域に根差した活動が郷土に対する愛着と誇りを高め、まちに感動やにぎわいを生み出しています。」と定めています。

(1) スポーツの文化的価値の浸透

スポーツは「身体を育てる」、「競い合って成長する」という側面に加え、「人を育てる」という広い価値のある文化的活動であることを多くの区民に発信することで、その価値が浸透していくことを目指します。

(2) 最良のレガシーの創出

東京 2020 大会の開催を契機に、「スポーツを通じて心と身体を鍛え、世界の国々の人々と交流し、平和な社会を築くこと」を目的としたオリンピック・パラリンピック精神が広く区民に根付くことで、最良のレガシー（後世に引き継ぐべき区民共通の財産）を創出していくことを目指します。

6 **基本目標**

ビジョンでは、基本理念を踏まえ、2つの基本目標を定めます。

(1) 区民の誰もが親しめるスポーツ環境の整備

区民の誰もが、健康で「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境を整備します。

(2) スポーツによる地域の活性化とにぎわいの創出

スポーツの持つ力によって、地域を活性化し、地元への愛着とにぎわいを創出するとともに、区民の健康づくりを推進します。

7 **3つの視点**

基本目標を達成するための3つの視点を定めます。

1つ目の視点：「する」

- ・区民の誰もがスポーツに親しみ、気軽に参加できるようにします。

2つ目の視点：「観る」

- ・プロスポーツやトップアスリートの活動支援を通じて、アスリートと区民のふれあいや区民のプロスポーツ観戦を促進するなど、スポーツによる地域の活性化や一体感を創出します。

3つ目の視点：「支える」

- ・スポーツ施設を効果的・効率的に活用するとともに、アスリート・スポーツ指導者への支援やボランティアの養成を行います。

8 8つの基本施策

(1) 概要

施策	5年後（東京 2020 大会まで）	10年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
	東京 2020 大会に向けた気運醸成とスポーツ施策の実施と継続	
東京 2020 大会に向けた施策の実施と継続	<ul style="list-style-type: none"> ◆区民の利用しやすいスポーツ施策の実施 ※2 ◆JOC・JPC等との連携によりトップアスリートとのふれあいの場の提供 ◆事前キャンプ誘致への積極的な対応 ◆ボランティアの養成に向けての都との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設利用者の増加や区民のスポーツ実施率の※3向上 ◆スポーツによる地域コミュニティの活性化 ◆ホストシティとしての実践と事前キャンプで訪れた人との交流の実現 ◆ボランティアの定着
	区民がスポーツや運動を通じて、元気な生活を送ることができる施策の実施	
スポーツを通じた健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆バランスのよい体づくりの推進 ◆いたばし健康づくりプロジェクトの継続・拡大 ◆地域における区民の健康づくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康的な体づくり習慣の定着 ◆いたばし健康づくりプロジェクト等による健康寿命延伸 ◆地域の健康づくり拠点の整備
	スポーツを世界共通の文化として位置付け、区民へ発信	
スポーツを世界共通の文化として構築	<ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツを文化の一つとして捉える考え方の浸透 ◆プロスポーツチームがあるまちとしての魅力や価値の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京 2020 大会を契機とし、区民がスポーツの価値や素晴らしさを認識し、郷土に対する愛着や誇りの醸成 ◆プロスポーツチームがある喜びの体感
	ユニバーサルスポーツの普及を通じて、誰もがスポーツに参加し、楽しさを知ることができる環境の実現	
ユニバーサルスポーツの推進 ※4	<ul style="list-style-type: none"> ◆関係団体と連携した区民向けユニバーサルスポーツ教室などの実施 ◆様々な障がいの特性などを把握した指導者育成や指導力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆誰もがスポーツに参加できる環境の実現 ◆様々な障がいの特性などを把握した高い指導力を持った指導者の増加

※2 JOC：Japanese Olympic Committee（公益財団法人日本オリンピック委員会）の略

JPC：Japanese Paralympic Committee（日本パラリンピック委員会）の略

※3 スポーツ実施率：ビジョンでは東京都スポーツ推進計画に合わせて週1回以上スポーツを実施する成人の割合を70%とします。

※4 ユニバーサルスポーツ：障がいの有無や年齢を問わず、誰でも参加し、活動できるスポーツの総称

施策	5年後（東京 2020 大会まで）	10 年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
ユニバーサルデザイン の推進	誰もが安心してスポーツを楽しむことができるユニバーサルデザインの推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆区立スポーツ施設の改築・改修によるユニバーサルデザインの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「公共施設等の整備に関するマスタープラン」^{※5}に基づく個別整備計画などによる改築・改修時におけるスポーツ施設のユニバーサルデザインの推進
地元アスリート・プロスポーツチームの支援	区にゆかりのあるアスリートや地元プロスポーツチームの支援	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆地元アスリートが競技に専念できる環境づくりの支援 ◆JOC・JPC など関係機関と連携し、ジュニア選手発掘・育成の支援 ◆プロスポーツチームとの連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地元アスリートの競技環境の向上 ◆区ゆかりのトップアスリートによる次世代アスリートの育成支援 ◆プロスポーツチームの教室やアカデミーなどのホームタウン活動を通じた地域の活性化
スポーツに関する最先端技術の世界に向けた発信	スポーツに関する医療、健康、福祉分野など、区による最先端技術の取り組みについて、世界へ発信	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆区内大学との連携によるトップアスリートなどへの支援 ◆各分野の最先端技術の国内外への発信と開発支援の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◆研究成果の拡大による区民の健康増進やトップアスリートの養成 ◆スポーツに関する最先端技術の実用化とPR活動
オリンピック・パラリンピック教育を通じた子どもたちの心と体の育成	オリンピック・パラリンピック教育を継続的に実施することによる心と体の育成	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆「遊び」や「授業」を通じたバランスのとれた体づくりの推進 ◆様々な国の人々と交流する機会を設けることによる「もてなしの心」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「遊び」や「授業」の充実によるバランスのとれた体の育成と体力の向上 ◆様々な国の人々と積極的にコミュニケーションを図ることによる「もてなしの心」の醸成

※5 個別整備計画とは…公共施設の概況と整備の方向性を明らかにし、適切なコスト管理による計画的な整備と将来需要を見通した最適化に向け、いわゆる「公共施設白書」として、平成 25 年 5 月に「公共施設等の整備に関するマスタープラン（以下「マスタープラン」と言う。）が策定され、そのマスタープランで定めた今後の施設整備に向けた基本方針及び未来志向のマネジメント方針に基づき策定されました。



(2) 8つの具体的な取り組み

①東京 2020 大会に向けたスポーツ施策の実施と継続

《東京 2020 大会に向けた気運醸成とスポーツ振興施策の充実と継続》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆区民の誰もが参加できるスポーツイベントや大会などを定期的で開催します。</p> <p>◆JOC・JPCなどの関係機関との連携によりオリンピックやパラリンピアンなどトップアスリートによる教室や講演会を開催します。 ※6</p> <p>◆事前キャンプ誘致に向け、東京都・大会組織委員会・JOC・JPCなどと連携し情報収集に努め、区スポーツ施設の整備や、他都市・区内大学と連携した事前キャンプ誘致を積極的に行います。</p> <p>◆都のボランティア指針策定に基づき、ボランティアの養成に向けた取り組みを図っていきます。</p>	<p>◆東京 2020 大会までの取り組みを活かし、区内スポーツ施設での各種イベント、大会を開催し、施設利用者の増加や区民のスポーツ実施率が向上しています。</p> <p>◆区民が自主的にスポーツイベントや大会などを定期的で開催することで、地域コミュニティが活性化しています。</p> <p>◆事前キャンプとして区を訪れた国・地域やホストシティとして受け入れを行った国・地域との交流が実現しています。</p> <p>◆東京 2020 大会終了後もボランティアが定着し、養成の仕組みが作られています。</p>

※6 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

②スポーツを通じた健康づくり

《区民がスポーツや運動を通じて、元気な生活を送ることができる施策の実施》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆区民の誰もが主体的に体を動かし、健康的な生活が維持できるようにバランスの取れた体づくりを推進する施策を行います。</p> <p>◆いたばし健康づくりプロジェクト参加者が、プロジェクト終了後も引き続き自分で健康管理ができるように区が支援します。</p> <p>◆商店街活性化のために、体組成計と血圧計を備え、ヘルシーなメニューを提供するコミュニティーカフェを区内各所に増設し、地域とともに区民の健康づくりを推進します。</p>	<p>◆子どもから高齢者まで日常生活の中で毎日体を動かし、健康的な体づくりの習慣が根付いています。</p> <p>◆いたばし健康づくりプロジェクトの参加者が増加し、区民が健康に暮らすことにより、健康寿命が延伸しています。</p> <p>◆区民が商店街での買い物や街歩きをしながら、コミュニティーカフェなどを気軽に利用するようになり、地域の健康づくりの拠点となっています。</p>

③スポーツを世界共通の文化として構築

《スポーツを世界共通の文化として位置付け、区民へ発信》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆区民一人ひとりがスポーツの価値や素晴らしさを見出し、心を豊かにする文化の一つとして親しまれるような様々なスポーツ施策を実施します。</p> <p>◆プロスポーツチームがあるまちとして、区民にスポーツの持つ魅力や価値を様々な事業や活動を通じて伝えていきます。</p>	<p>◆東京 2020 大会を通して、それぞれが感じたスポーツの価値や素晴らしさが区民に広く浸透し、郷土に対する愛着や誇りがさらに高まっています。</p> <p>◆プロスポーツチームがある喜びを区民が体感し、スポーツの価値や魅力を感じることで、地域が活性化し、郷土愛が高まっています。</p>

④ユニバーサルスポーツの推進

《ユニバーサルスポーツの普及を通じて、誰もがスポーツに参加し、楽しさを知ることができる環境の実現》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆JPC など関係団体との連携のもと、誰もが気軽に参加できるユニバーサルスポーツ教室などを定期的実施します。</p> <p>◆様々な障がいの特性などを把握した指導者の育成及び指導力の向上を図るため、講習会などを実施します。</p>	<p>◆誰もが気軽に楽しめるユニバーサルスポーツが普及し、障がいの有無や年齢を問わず、共にスポーツに参加できる環境が実現しています。</p> <p>◆様々な障がいの特性などを把握した指導者が増加し、地域の中で自主的に活動しています。</p>

⑤ユニバーサルデザインの推進

《誰もが安心してスポーツを楽しむことができるユニバーサルデザインの推進》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆区立スポーツ施設を改築・改修する際には、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが利用しやすい施設となるようにします。</p>	<p>◆「公共施設等の整備に関するマスタープラン」に基づく個別整備計画などにより、スポーツ施設は、ユニバーサルデザインを取り入れた整備が進められています。</p>

⑥地元アスリート・プロスポーツチームの支援

《区にゆかりのあるアスリートや地元プロスポーツチームの支援》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10 年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆区内在住など区にゆかりのあるアスリートが様々な大会で活躍できるよう、アスナビ^{※6}を開催するなど競技に専念して取り組むことができる環境づくりを支援します。</p> <p>◆JOC・JPC など関係機関と連携し、ジュニア選手の発掘・育成を支援するため、アスリートによる講座などを実施します。</p> <p>◆連携協定を結んでいるプロスポーツチームが行う地域活動を支援します。</p>	<p>◆競技に専念できることで、アスリートが区に定着し、様々な大会で活躍しています。</p> <p>◆様々な大会で活躍したトップアスリートが、次世代アスリートの育成支援の担い手として活動しています。</p> <p>◆プロスポーツチームが地元で根付き、積極的なホームタウン活動を通じて、新たなファン層を獲得し、地域が活性化しています。</p>

※6 アスナビとは…アスリート就職支援ナビゲーションの略で、トップアスリートの生活環境を安定させ、競技を安心して続けられる環境をつくるために、企業のサポートを望むトップアスリートと雇用側である企業との Win-Win の関係を作ることを目的とした活動

⑦スポーツに関する最先端技術の世界に向けた発信

《スポーツに関する医療、健康、福祉分野など、区による最先端技術の取り組みについて、世界へ発信》

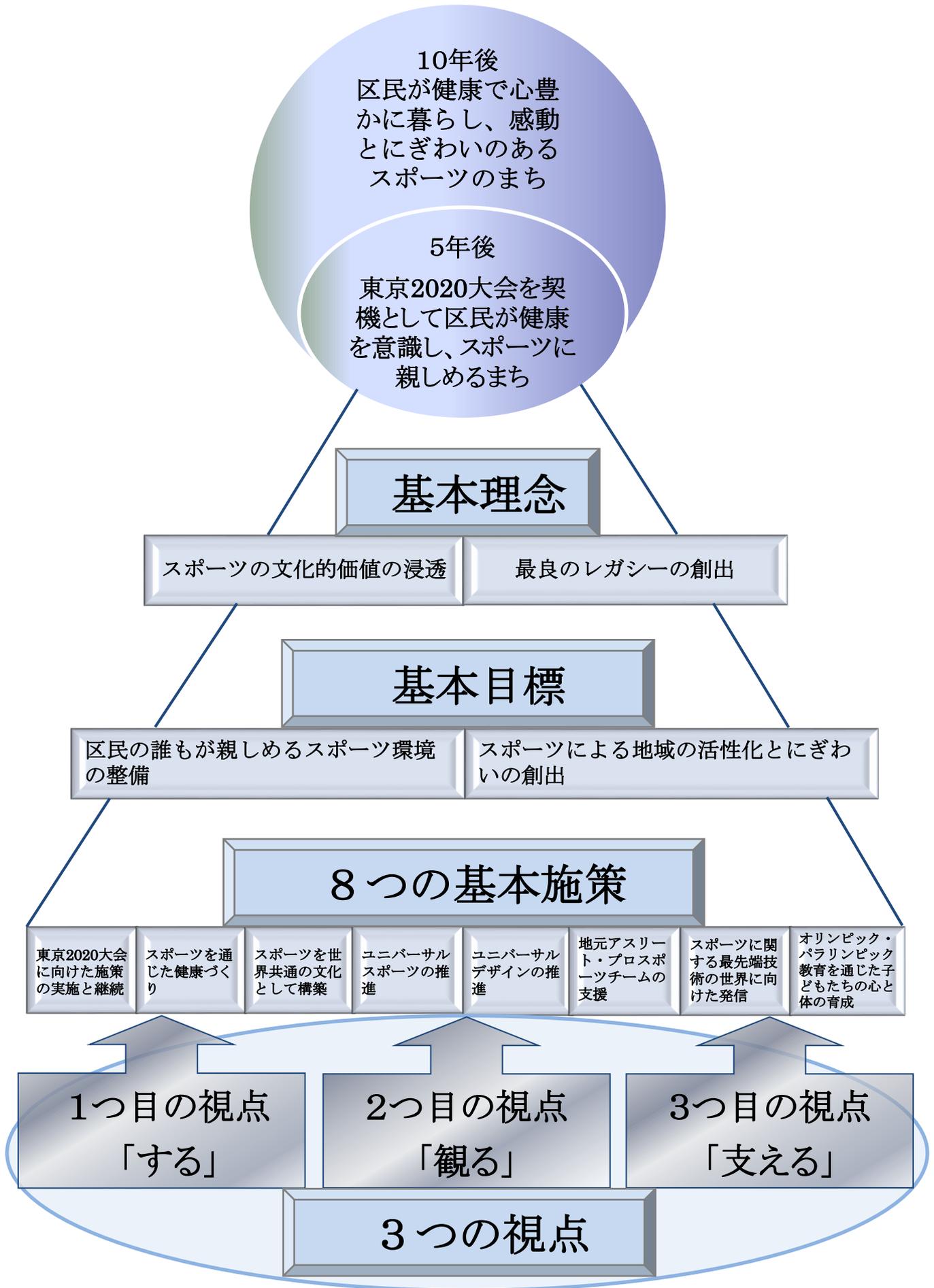
到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10 年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆スポーツ能力の向上のため、スポーツに関する先進医療や先端技術を研究している区内大学との連携を図ります。</p> <p>◆東京 2020 大会を先端技術を実証する絶好の機会と捉え、区が誇る各分野の最先端技術の国内外への発信を支援します。</p>	<p>◆研究成果を一般の区民や次代を担う小・中学生に拡大して提供し、区民の健康増進やトップアスリートの養成につなげています。</p> <p>◆スポーツに関する先進医療が更なる進化を続け、最先端技術の実用化に向けた取り組みがされています。</p>

⑧オリンピック・パラリンピック教育を通じた子どもたちの心と体の育成

《オリンピック・パラリンピック教育を継続的に実施することによる心と体の育成》

到達目標	
5年後（東京 2020 大会まで）	10 年後（東京 2020 大会終了後のレガシー）
<p>◆「遊び」や体育・保健体育の授業を通じたバランスのとれた体づくりを推進します。</p> <p>◆区と関わりのある国を中心とした様々な国の人々との交流を通して、「もてなしの心」をもって他者と関わるようにします。</p>	<p>◆「遊び」や体育・保健体育の授業の充実により、バランスのとれた体が生まれ、体力の向上が図られています。</p> <p>◆様々な国の人々と積極的にコミュニケーションを図ることにより、常に「もてなしの心」をもって他者と接することができるようになっています。</p>







©TOKYO EXCELLENCE

10 関係団体の役割

ビジョンの示す方向性を実現するために関係団体が協力・連携し、それぞれが役割を担います。

● トップアスリート：連携プロスポーツチーム、スポーツ大使、スポーツプロモーター、JOC、JPC 等

プロスポーツ選手やオリンピック・パラリンピアンなどトップアスリートと区民との触れ合いや地域との交流、スポーツ観戦などを通じて、スポーツの楽しさ・魅力や価値を区民に伝える役割を担います。

● 学校：教育委員会、小・中学校、幼稚園、保育園、こども園等

健康でバランスのとれた体づくりの推進や様々な国の人々と交流する機会を設けることによる「もてなしの心」を育成する役割を担います。

● スポーツ団体：体育協会：スポーツ推進委員協議会、各連盟・協会、総合型地域スポーツクラブ、指定管理者等

区民のスポーツ大会への参加促進や日常生活でのスポーツの習慣化、スポーツニーズの把握、様々なスポーツの普及、スポーツを身近に感じてもらえるようなイベントの開催などにより、区民のスポーツ実施率の増加や区民の健康づくりに貢献する役割を担います。

地元のアスリートを支援する役割を担います。

● 事業者：企業、商店街、医療機関、大学、NPO、各団体等

障がいの有無や年齢を問わず、スポーツに親しめるようなユニバーサルスポーツの普及やイベントを実施する役割を担います。

企業や大学などと連携し、最先端技術の研究成果などを世界へ広げていくことなど、誰もがスポーツに参画できるようにする役割を担います。

● 地域：町会、自治会、老人クラブ、ボランティア等

スポーツを通じた地域の醸成の役割を担います。

スポーツを通じた地域のつながりを作るために、プロスポーツチームやアスリートのスポンサー活動やイベントに協力することで、区民みんなで一緒にスポーツ活動を楽しめる仕組みづくりをします。

また、ボランティアの育成、参加促進や地域の活性化をします。

● 区民

スポーツを「する・観る・支える」ことを通じて親しみます。

自主的・自発的なスポーツ活動を実践し、健康づくりや生きがいがづくりにつなげます。

● 区

関係団体を結び付け、全体の協力と協働のもと、国・都・他自治体などと連携し、スポーツ推進ビジョンで掲げた「あるべき姿」の実現のため「基本理念」・「基本目標」の達成に向けかじ取りをします。

様々なトップアスリートと連携し、スポーツを通じて地域に愛着とにぎわいを創出します。

区民や地域のスポーツ活動を支援し、活性化を図るとともに情報発信を行います。

誰もが気軽に利用できるユニバーサルデザインを推進する役割を担います。

東京 2020 大会に向けた気運醸成と大会後のレガシーを創出する役割を担います。

スポーツの推進を担う関係団体で連携し、協働して取り組みます。

学校

教育委員会・小学校
・中学校・幼稚園・保育園
・こども園等

子どもたちの健康な
心と体の育成

スポーツ団体

体育協会・スポーツ推進委
員協議会・各連盟・各協会
・総合型地域スポーツクラブ
・指定管理者等

スポーツを通じた健康づくり
地元アスリートの支援育成

トップアスリート

連携プロスポーツチーム・
スポーツ大使・スポーツプロモ
ーター・JOC・JPC等

スポーツを世界共通の
文化として構築



事業者

企業・商店街・医療機関・
大学・NPO・各団体等

ユニバーサルスポーツの
推進
最先端技術の世界へ向けた
発信

地域

町会・自治会・老人クラブ・ボラ
ンティア等

オリンピック・パラリンピ
アとの触れ合いイベント
スポーツによる地域の醸成
スポーツライフの定着

区

ユニバーサルデザインの推進
東京2020大会へ向けた気運醸成
スポーツ振興施策の充実

区民

自主的・自発的なスポ
ーツ活動の実践

スポーツ推進ビジョン 2025

編集 板橋区区民文化部スポーツ振興課

〒173-8501 板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

TEL 03-3579-2651 FAX 03-3579-2166

taiiku@city.itabashi.tokyo.jp

平成 28 年 4 月発行

刊行物番号 28-14